

豊かな街へ

住宅版エコポイントや市民の環境貢献意識の高まりを背景に、環境に配慮した戸建て商品や街づくりに注目が集まっている。住宅設計や配棟・植栽計画など、自然を生かした緑豊かな街づくりに取り組む企業を紹介する。

ポラスG

地域密着経営で40年 環境配慮の街づくり推進

越谷市を中心とした地域密着型経営が特徴のポラスグループ（本社・埼玉県越谷市）。グループ23社で構成され、注文住宅や戸建て分譲、分譲マンション、資産活用事業など住宅に関する事業を幅広く手掛ける。昨年までの40年間で、新築住宅供給戸数（累計）は4万戸を超えた。

同社の創業以来のモットーは「顧客第一主義」。それを実現するため地域に根差したサービス・経営を基本と位置付ける。また木材を全部に標準装備する。



美しい街並みと魅力あるコミュニティづくりを目指す「春日部ザ・パークアソシエ パレットコート」

・部材の仕入れ、加工、設計・施工、アフターメンテナンスまですべての工程に責任を持つ、一貫施工体制を確立している。購入前、そして暮らし始めてからも顧客に安心感と満足感を届けるための体制だ。

このような体制整備に加えて、住宅や街並みについても価値あるものを供給していくことを方針として掲げる。

4月17日から、グループ会社の中央グリーン開発㈱で販売を始めた分譲住宅「春日部ザ・パークアソシエ パレットコート」（全58棟）は、販売から1カ月で、30棟以上の申込みを受けるほど販売が好調である。

同分譲地は、東武伊勢崎線・東武野田線「春日部」駅から徒歩18分。3万㎡を超える広大な敷地に誕生した全190区画の大規模邸宅街「春日部ザ・パークアソシエ」内に位置する。同分譲地は成熟した住宅地に囲まれて、周辺には日常生活に必要な諸施設が揃っている。セキュリティ面にも配慮し、車両の入り口を3カ所に限定した。また、セキュリティと提携し、警備員が街区を巡回警備する。「セキュリティ」を全部に標準装備する。

その中でポラスが分譲する「春日部ザ・パークアソシエ パレットコート」は、「次世代省エネルギー基準」の住宅で、日常使われる冷暖房エネルギー使用の負担を軽減。「CO₂の増加と地球温暖化」の抑制に「NATURE（環境）」もつながる。

更に、キッチンを中心に女性の声を反映させたことE（大規模開発）の4つも特徴だ。料理や後片付けの理念を基に、様々なライフスタイルに対応できるスマートトリートコミュニティを提案する。

また、4つの街区テーマ「結（街と結ぶ）」「絆（深まる絆）」「和（和み）」「恵（陽だまり）」を掲げ、それぞれに配慮した設備・仕様を取り入れる。地域密着経営をベースに、将来にわたって価値を維持できる住宅供給に取り組んでいる。